

雷別地区自然再生事業地における野生動物自動撮影調査結果について（12月調査分）

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、雷別地区自然再生事業地において12月1日から21日までの3週間、自動撮影カメラによる野生動物撮影調査を行いました。今回はカメラを合計9台設置。設置箇所は自然再生事業地周辺の歩道沿いや獣道としました。調査方法は、赤外線感知装置付きの自動カメラを使用、装置は24時間稼働し、動物が装置前を通過したら自動的に撮影を行います。

調査の結果、下表のとおり哺乳類ではエゾシカ、キタキツネ、エゾタヌキ、ネズミ類、鳥類ではアカゲラ、ゴジュウカラを撮影しました。

表 野生動物自動撮影調査結果集計表（平成21年12月調査分）

撮影された動物名	撮影枚数（単位：枚）
エゾシカ	18
キタキツネ	4
エゾタヌキ	23
ネズミ類	5
アカゲラ	1
ゴジュウカラ	1
合計6種	52枚

（主な撮影画像）



エゾシカ（12月17日02時10分撮影）



エゾタヌキ（12月7日20時19分撮影）



アカゲラ（12月1日13時21分撮影）

拡大





拡大



ゴジュウカラ (12月13日 11時06分撮影)